



竜神大吊橋

水の思い出

～27～
春待ち蕾

このあたりでは、立春を過ぎてから雪が降ることがよくある。夜、寝ている間にそっと降り積もっては、朝目覚めた私を驚かす。一月頃の雪と違って、水分をたっぷり含んだぼたん雪だから、解けるのもまた早い。夜明けから、日が昇ってせいぜい一時間か二時間のわずかの間、「幻の水墨画」の如き美しい景色を見せて夢のように消えてゆく

そんな日を何度か繰り返し、ある日突然、乾ききっていた庭の土が、いつの間にか柔らかく黒々としていることに気づく。ハッとして耳をすませば、家の近くの小川から、さらさらと軽やかな音色が響いてくる。凍り付いていた川面が、解けて流れ出したのだ。空の色も淡い水色に変わっている。軒下近くまで来て、得意げにさえずるのは、鶯たち。まだうまく鳴けない。「ほら、ジャッチャメが来た。」今は亡き義母が、毎年楽しそうにそうつぶやいていた。そして庭先の小さな陽だまりから、ぷっくりとかわいらしくふくらんだフキノトウを、少しだけかごに摘んできて、決まってこう言った。「土が湿ったから、だいぶ大きくなった。」初ものは、好物のふき味噌や天ぷらとなり、我が家の食卓に早春の香りを運んでくれた。

今年も春待ち雪は降るだろうか。草花や木々の芽をふくらまし、土の中の小さな生き物たちの新しい生命を育む、あの揺りかごのような雪は降るだろうか。そして、毎年お決まりのあのセリフを、今年もきっと私が言うに違いない。「ほら、ジャッチャメが来た。」 (天下野町 菊池 幾子)



プロの知識を地域に活かす 西野 一 さん

はじめ

さん

■西野一さんは塗装やリフォームに関する知識が大変豊富なの見込まれ、建築業界では著名な月刊誌に塗料についての記事をお書きになっていました。そのような経験をきっかけに、ついには出版社から出されているリフォームに関するシリーズ本の1巻をまるまる担当、執筆・出版なさいました。また、「トラブルの例を身近で多く聞き、自分の持っている知識が少しでもそのようなトラブルを防ぐことに役立つなら」と一般の方むけの、簡単で読みやすい冊子も発行なさっています。

■「だまされているにも関わらず、

今でもいいセールスマンだったと信じ込んでいる人までいるんですよ」、悪徳業者の事例から対処法まですらすらと読みやすくまとめられた小冊子は、1000冊を自費出版しましたが、もう残りわずかとなってしまったそうです。大きさ厚さ共に手に取りやすく、話しかけるような文体で、お年寄りでも大丈夫なように大きめの字で作られています。「お客様の立場に立って冊子を作っていくとこんな形になるんですね」。

■さらに今は、「リフォーム安心倶楽部」というグループの立ち上げも計画中だそうです。「建築関係といっても、とても幅広いものです。そのすべてにわたって知識を持つというのは難しいと思います。一般の方の心配ごとや困りごと相談などを聞きやすいQ&A形式で受けられたら

と思っています。建築のカウンセリングのようなことができたらと思っているんです。相談を受けながら相談者が自分で判断できるようになってもらえればうれしいです」



西野さんがお書きになった小冊子10冊と書籍7刊をいただきました。ご希望の方に抽選でプレゼントいたします。はがきで下記までご応募ください。どれが当たるかはお楽しみ。

応募先 〒313-0061
常陸太田市中城町3280
生涯学習センター
フォンスネットワーク
リフォーム本係

建築に関する職人の集団 茨城県建築士会 久慈支部

■毎年山吹運動公園体育館で無料の建築相談会を開催なさっているのを見かけた方も多いと思います。「建築士」には1級建築士・2級建築士・木造建築士があり、「建築士会」は設計事務所、建築施工業者、内装業者、大工さん、左官屋さん、ペンキ屋さんなど建築に携わるさまざまな職業の方でなる「建築に関する職人の集団」です。



■リフォーム詐欺を初めとした相談を受けることが最近とみに多くなってきたそうです。久慈支部長の上岡正芳さんによると「建築に関してのご相談はいつでもお受けできます。でも、問題は社会全体が人のつながりを失っていることかもしれません」。

「それぞれの家には昔からなじみの大工さんがいて、何か問題が起これば相談し、またメンテナンスなどもすぐに対応してくれていました。」建築に関することに限らず、ご近所付き合いからはじめ、さまざまな人間関係を地道に作っておくこと、それが無いといざという場合に相談する相手もすべもないということになるのでしょう。

「社会全体がゆとりのない時代になってしまいましたが、ご近所の大



工さんとお茶のみ話をするゆとり、人と人がつながりを作るゆとりが欲しいですね。建築士会の会員とゆっくりお話でもしませんか？建築士会は建物だけでなく人間関係の再構築も一緒にと思っています。」とおっしゃっていました。

地元で長く営みを続けてきたこと、信用という言葉はそのブランド名にあたるのかも知れません。地域で地道な活動を続ける建築士会・西野さん・深澤さん、皆さん「プロ」という言葉がぴったりでした。
(塩原慶子)

INTERVIEW

ご相談に見えた方の問題が解決して、ほっとなさった様子を拝見するのがなんと言っても一番うれしい時です。もらい泣きしてしまうことも……

常陸太田市消費生活センター 消費生活相談員 **深澤 久子** さん



❖相談員になったきっかけは？

「以前、茨城県の消費生活センターが行っている「ゆうゆうセミナー」という講演を聞いて大変驚くと共に勉強になりました。その時、このような知識を活かした仕事につけたらいいなあと思ったのが、思い出してみると最初のきっかけになるかもしれません。その後しばらくして子育てもひと段落したころ、お友達から消費生活センターで相談員を募集していると聞き、問い合わせたところそのセンターでの募集は締切りを過ぎていたんです。残念に思っていたのですが、そこで県内の各市でも相談員を募集していると教えていただき、通勤の状況などがあう常陸太田市の相談員に応募、採用されました。」



出前講座で説明中の深澤さん

❖センターでの仕事は？

「昨年の7月にセンターがオープンしてから、このような相談窓口があることをまず知っていただこうと、ご要望があると出前講座を行っていますが、今でも人前で話すのはちょっと苦手です。」と静かにお話

になる深澤さん。出前講座では常陸太田市での実例をもとに説明し、聞いている方がひとつと思わないような気をつけているそうです。実際センターにご相談に見えた方への対処としては「よく聞くことが大事」。ご相談に来た方は混乱していることも多く、事実関係を具体的に聞き、整理していくことがスタートになるそうです。「毎日が勉強、発見の連続です」



昨年7月からの相談事例のファイル(上)こんなに多くの相談が寄せられていることに驚きます。深澤さんは毎週月・水・金に相談センターにいらっしゃいますがその他の曜日でも職員が対応してくれます。「すぐ相談」「あきらめないこと」が大切だそうです。

❖今後取り組みたいことは？

「出前講座を聞きに来てくださる方は、ちゃんとお友達のつながりを持っている方が多いのです。問題は一人暮らしのお年寄りにどう情報を届け、またどのようにつながりを作っていくかなんです。被害に遭われるのは相談相手もない、出かけられない一人暮らしの方が多く、訪問して説明するなどの対策を模索中

とか。また学習教材の相談など、学齢期のお子さんをお持ちの保護者対象の出前講座などもできますとおっしゃっていました。「大事なのは相談員のアドバイスを受けて相談者ご本人が問題を交渉・解決できるようになることです。」優しい笑顔の奥にひめられた意思の強さは、相談相手にふさわしい人ではないでしょうか。

❖出前講座を頼むには？

「消費生活センターにご連絡ください。少人数でもご要望があればお伺いします。ご相談は無料でプライバシーは守られます。どうぞお気軽にお問合せください」

問合せ先

常陸太田市消費生活センター

〒313-0016

常陸太田市金井町3690

市役所市民課①番窓口

☎0294-70-1322

相談時間

月～金 9:00～12:00

13:00～16:00



できることを、できるところから始めよう!!

4
こんにちは
7月号

毎日のように新聞に掲載される自警団結成のニュース、今防犯のための取り組みがあちこちで始められています。常陸太田市で昨年始まった「地域子ども安全ボランティア会員」は現在700名弱。茨城県一広い地域では必ずしも十分とはいえないでしょう。私たちの町のために一人一人が「できること」を始めた人たちをご紹介します。ボランティアという言葉は「自発性」を意味するそうです。誰かに頼まれたからするのではなく、自分のできることは何かを自ら考え行動し始めた人たちが、ふるさとをよりよい地域へと変えようとしています。

他にもたくさんの
取り組みがありますよ



佐竹南台自治会から防犯のための
を行っていました。歩
め、昨年「ご近所の底力再
小学校登下校時間の見守り
た。「朝、子どもたちに声を
すね」と皆さん。「ただ心配

市内で見かけるパトロール中のシール、市で最初に作り始めたのは誉田小学校でした。5年ほど前、市内高校付近で不審者が相次ぎ対策を練っていたPTAで出されたアイデアのひとつがこのシール、当時はパウチ機を使った手作り、全校保護者に配り車に張っていただくことで犯罪の抑止効果を狙ったものでした。そのような伝統のある誉田小PTAでは昨年「ご近所の底力再生事業」の助成をうけ、シールや腕章を作りました。ただ協力を依頼しシールなどを配るだけでなく、地域全体でのネットワークも構築しています。町内会・子ども会・学校・PTAそして地区の駐在所も交え

子どもたちは地域全体で守ります 誉田小学校PTA

パトロール実施中
地域の子どもを守る会 誉田PTA

で登下校中のパトロールをはじめ安全マップや通学路の確認などを行っています。「今は事件が相次ぎ子どもたちの安全に目が向いていますが、本当は地域全体が安心できるようになることです。」「下校後遊びに出る子どもたちは誰が見守るのでしょうか。空き巣などを防ぐためにも、いつでもどこでも安心できる地域の目があるといいですね」「負担はあまり多くしないことが長く続く秘訣だと思っています」PTAや学校の皆さんの言葉が印象的です。「子どもたちが帰ってくる頃に、庭仕事をしてればいいんだっぺ」とうれしい言葉を地域の方たちからいただいているそうです。

佐竹南台自治会

8人の頼

びに行く子どもたちを見守るす」。自治会独自の活動にあ
ランティア」にも登録済。
もっと増えたらますます
す」と参加を呼びかけ

このページにご
緑のユニホーム
南台自治会のメ

「ご近所の底力再生事業」って何？

水戸市の旧県庁跡、三の丸庁舎にある「大好き茨城県民会議」が行っている助成事業です。皆さんご存知NHKの番組から名前をいただいたもので、「できることを、できるところから始めよう」を掛け声に、地域の防犯・防災や福祉などに取り組むグループに対して助成金が交付されます。今年度常陸太田市では、ここでご紹介した 誉田小学校PTA・佐竹南台自治会など5つの団体が助成を受けて活動に活かしています。



大好き茨城県民会議

〒310-0011 水戸市三の丸1-5-38

☎029-224-8120



「カ

PT
に、
て市
方た
だけ
もぜ



常陸太田市PTA連絡協議会で
は昨年から組織を見直し部会制に移行する
と共に安全対策部会をつくり、子どもたちを犯罪か
ら守るためにできることを検討してきました。「今回作られ
たステッカーはPTAの人的ネットワークの賜物です」と語るの
は同会会長 長澤孝至さん。「会のメンバーがインターネットで安く
大きなサイズのステッカー用シートを探してくれたり、また安く印刷して
くださる業者さんを探していただきました。それで、少ない予算でたくさん
の枚数を作ることができたのです」。でき上がったステッカーは、「役員の方に
限らず、できるだけ市内を車で移動する機会の多い方に張っていただくよう」市

市全域で防犯パトロール
**常陸太田市PTA連絡協議会
防犯パトロールステッカー**



内の小学校全校に配布されました。また、市内をくまなく配達する郵便局・ヤマ
ト運輸・生活協同組合・農業協同組合に呼びかけ、協力をいただいています。(写
真)このようにして作ったシールの版型を利用して、市内の小学校が保護者
配布シールを作成する動きも広がっており、長澤さんは「今回の取り組み
で横のつながりを作る大切さを感じました」とおっしゃっていました。
保護者はもちろん地域住民そして企業と、その地域を愛するすべ
ての人が手をつないでいくことが、「子どもたちが安心し
て外で遊べる」ふるさとづくりにつながるのだと思
います。

れる男たち

登場いただいた
姿はすべて佐竹
ンパーです



広報ひたちおおた」
をご覧ください

A・自治会など市民の方の取り組みと同じ
常陸太田市でも右のようなシールを車両に
内のパトロールを行っています。さらに市
ちの取り組みを支えるための情報はフォ
ではご紹介しきれません。「広報ひたちお
ひご覧いただきお役立て下さ



「フォズ」は生涯学習センター
で、「広報ひたちおおた」は情報
政策課で作成されており、記事を
作るスタンスや立場がにはそれぞ
れ違いがあります。今回取り上げ
たテーマは、図らずも一致したも
のでした。それは防犯意識の高ま
りの奥にある「地域再生」が、今
最も大切な問題であることの表れ
だからでしょう。(塩原慶子)

学び舎から

「地域とのふれあい」

常陸太田市立小里小学校



「来て、見て、やって、そして聞いて」をテーマに、学校公開を、第1部「地域との交流会」、第2部「教育講演会」、第3部「学習発表会」とい3部構成で

実施しました。地域の皆さんとの交流会は、学区内の方を講師に招き、紙玉鉄砲作り、お手玉作り、ビーズ手芸、昔遊び、琴演奏、ソーランを踊ろう、あやとりと折り紙、太鼓教室の8つのコースの中から希望するコースで児童が活動を行いました。講師以外の地域や保護者の皆さんも児童たちと一緒に活動し、作ったり、習ったり、勝負したりと児童に負けにくい真剣な表情で参加し、いつもと違ったふれあいの時間を過ごすことができました。

地域在住の方の手品を交えた講演会の後、学習発表会が行われ、歌あり、群読あり、劇ありと各学年趣向を凝らした発表の他、一輪車有名人の模範演技、地元里美太鼓会の演奏と続き、会場は大いに盛り上がりました。

児童を中心に地域のふれあいを深めた一日でした。



学び舎から

総合的な学習

「地域との共生をめざして」

常陸太田市立瑞竜中学校



取材に訪れた江間さん(左)と鈴木さん(右)

「広報誌やフォonzを調べてみたくて」と、瑞竜中学校の生徒さんが2名、市の広報誌とフォonzを取材に訪れました。「以前から情報に興味がありました。回覧板は市のどの家にも届く身近な情報伝達方法です。回覧板で届く広報誌は誰が何のために作っているのか知りたかった」とレポート用紙いっぱい書かれた質問が次々と投げかけられました。一生懸命に人の話を傾ける様子が写真からもお分かりになると思います。いつもなら取材する側ですが、初めて質問される側になってみて、伝えることの難しさを教えてもらえました。

2人の取材結果の発表があると聞き、今度は瑞竜中の「総合的な学習」のレポート発表を取材に行ってきました。瑞竜中学校では「総合的な学習の時間」として、2学年時に職場体験を行い、3年生では「地域との共生をめざして」を目標にさまざまな地域課題を調査・研究しています。「生きる力」が必要とされる将来を、具体的に思い浮かべられる世代である中学生たちの興味が、「地域との共生」という方



引率の菊地先生を交えて取材中

向でまとめられていることにちょっと感動しながらレポートの発表を聞いてきました。「広報誌はただの紙ではなく、想いで重たくなっている。作成者の想いを知ったので、広報誌を見るたびドキドキワクワクする気がする」と2人の発表にありました。広報誌に限らず、「すべてのものづくり」に共通する大事なことを若々しい声で聞くのはなかなかじ〜んとくるものです。

職場体験で幼稚園などに行った経験を元に保育士について調べた生徒さん、部活の合間に飲む水のおいしさから久慈川・里川の水質調査をした生徒さん、目標に向かって階段を一段一段登って行くエネルギーに満ちた教室を出て思ったことは、「今時の若いもんは」……たいしたもんです！（塩原慶子）



ちよつとひといき 番外編①



ここには、時間音がない。あるのは食に関する音だけだ。時折聞こえてくる店主のそばの湯を切る音。それは、今から始まる食する者に対する儀式ともいえる。

住所：〒313-0351 茨城県常陸太田市天下野町2162
TEL：0294 (70) 6290 FAX：0294 (70) 6291
http://www.jikyuan.co.jp/
定休日：水・木曜日(祝日の場合営業・翌日休み)
営業時間：11時30分～14時30分
交通：車 常磐自動車道 日立南太田I.Cより30分
竜神大吊橋を目指し、その1km手前
電車 水郡線 常陸太田駅より
バス40分 タクシー20分

粗挽きされたとは思えない透明感のある蕎麦は品のいいコシがある。またそば湯も透明感があり香り高い。窓から里山の景色をながめながらご賞味あれ。(鈴木久美子)

ちよつとひといき 番外編②



命ともいえる原料の小麦粉は水府で自ら行っている焼畑農法で自家栽培し、手刈り、天日乾燥。それらは石臼で粗挽きに自家製粉されている。

住所：〒313-0056 茨城県常陸太田市西一町2325-1
TEL：0294 (72) 5911
定休日：木曜日
営業時間：11:00～14:30(ラストオーダー)
17:00～20:30(")

お土産用うどん(一人前300円位) 2・3日前に要予約。多くの要望があった手打そばもはじまる。

何度ももみ込まれた粗挽きの小麦は、なめらかなコシがある饅饨となる。饅饨湯も透明感があり、香り高い。通り塩町西の辻にある明治の建物風で香りに包まれながらご賞味あれ。(鈴木久美子)

子育て奮闘記

踊るママパラダイス ②8

去年の話になりますが、旧太田地区の市内小中学校音楽祭を見に行きました。5年生のコースケと吹奏楽部のスミシの演奏を聞きに行くのが目的でした。毎度のことですが、私は子どもの発表する姿を見ると涙が出てしまいます。スミシの初めての運動会では入場行進ですでに涙ぐむし、コースケの発表会は涙でよく見えないほど泣きました。ですから、ハンカチを握りしめながら、座席にいたわけですが、正解でした。今年はやその学校の発表にまで泣けてしまったのです。少ない人数で見事に合唱曲を歌い上げる姿や、大人数なら合わせるのに苦労しただろう楽曲を、それはもう楽しそうに演奏する子ども達の満足げな顔に感動せずにはいられませんでした。すごい、すごい、すごい！最初から最後まで口をへの字に曲げて涙をこらえて見ていました。どれだけ頑張ったろうか、想像するのも難しく、ここまで指導された先生のご苦労や、それに応えた子ども達に心より拍手を送りました。

コースケが小学校に入学して以来、何人もの先生に支えられ続けています。自分一人ではとてもここまで育てられなかったといつも思います。コミュニケーションに問題があって、学校では同じ学年の子ども達とどうしても比べてしまうのですが、一人ではないと思うと頑張れます。先生ありがとう。それから忘れてはいけないうちの子はここがすごい。と胸を張って言えるお母さんになりたいです。子ども達の頑張ってもできないことがあることを認めてあげる勇気と、それでも頑張っているのだと認めてあげられる大きさを持ったお母さんに。

私は自分の子どもの良いところを聞かれたときに、「うちの子はここがすごい。」と胸を張って言えるお母さんになりたいです。子ども達の頑張ってもできないことがあることを認めてあげる勇気と、それでも頑張っているのだと認めてあげられる大きさを持ったお母さんに。

— わいわいネット・織田 裕子 —

彼の思いやりですね



リレー
エッセイ 「思い出の絵本」 ～28～

(中野町 宮本 清枝)

最近、家の本棚で、ちょっと色あせた表紙のこの本「はけたよ はけたよ」を見つけました。この本は、息子も娘も大好きで、小さい頃よく読んで聞かせた本です。

主人公の「たつくん」は、ひとりでパンツがはけません。片足をあげてはこうとすると、ふらふらして、どでん！何回やってもどでん！この本を読んで聞かせた頃の息子のパンツと格闘する姿が思い出されます。「パンツなんかはかないや。」と言って飛び出したたつくんを「しっぽのないつるつるのおしり！」と言って動物たちが笑います。たんぼにいたサギのようにうまく一本足で立てないかとたつくんは悩みます。家に帰ると、お母さんが、ミシンかけをしていました。「まあ、パンツもはかないでどこへいったの。」とおしりを洗ってくれました。「ああ、めんどくさい。」しりもちをついたままパンツをはこうとした時……はけたのです。喜んだたつくんは動物たちに自慢します。「ほら、みてごらん。ぼくのズボン！おかあさんがぬったんだよ。ぼく、ひとりではいたんだ。」

今になると、「いつできるようになったのか」忘れてしまったことも多くあります。でも、この本を見つけて、息子や娘が、「はじめてたまごボーロを自分でつかんで口へ持っていった」時の、「はじめてボタンを穴へ通すことができた」時の小さくって大きな感動を思い出しました。ひよんな所から解決の糸口が見つかる楽しさとやる気を、この本は子ども達に与えてくれます。そして、子どもの「ひとりで……」を温かく支える母親の姿を私たちにも教えてくれている気がします。1970年に書かれたこの絵本は、今も同じ気持ちを子どもにも大人にも伝えてくれます。(次回は 松栄町 櫻井節子さん)



ホッ
とひといき **コツバメ**



春に咲く梅や桜のように、春にだけ現れて、春を告げてくれる蝶の仲間がいます。このコツバメという蝶もそのひとつです。体長2cm程度の小さな蝶ですが、3月の初めには出てきて、春の蝶の一番手です。春が終わると姿を消してしまいます。まだ、芽吹いたばかりの雑木林周辺を活発に飛び回っている姿を市内の野山でよく見かけました。しかし、近年数が少なくなりました。雑木林が荒れてきたのでしょうか、少し心配です。

(写真・文 佐々木泰弘)

ちよつとひといき

**かしわ餅
塙製菓**

三才町68 ☎72-2311
定休日：火曜日
営業時間：9:00～18:00



西宮町へアーサロンスズキさんの斜め向かいの道を南へ進むと、右手に塙製菓があります。「袖の下まんじゅう」や、季節の和菓子のお店です。今の時期いろんな和菓子が並ぶ中、来半月ばには「かしわ餅」が登場します。このかしわ餅は、店主の家の田んぼで育ったこしひかりを自家製粉して作られています。手間をおしまずに何回かつき上げられた餅は、弾力がありとてもなめらか。「食感と香りはもちろん、餅本来の気持ちも大切にできたら」とにっこりするご主人。形作られた後もさらにひと手間、やっと「かしわ餅」ができ上がります。作りたてのおいしさは、どうかその日のうちに召し上がってください。4半月ばから5月末頃まで店頭に並びます(105円/個)。時期がくるまで、青やぎ・きんつば・ふぶき・みそまんじゅうなど(各63円)お茶を飲みながら待ちましょうか。

(後藤百合子)

**編集
後記**

♪あのまち このまち ひがくれる～♪ 表紙を見て思わず口ずさんだこの冊子は前号でご紹介した、考鯨庵・寓緒喜把(こうげいあん・ぐうちよきばー)庵主・宇野好文さんがこれまで集められたマッチのラベルを写真集として発行されたものです。そこで宇野さんから、フォンス読者5名の方にプレゼント!です。販売は特に予定していないそうですが、ご希望の方には実費(500円)でお分けして下さるとの事、考鯨庵・寓緒喜把に伺ってみてはいかがでしょうか。もし庵主に出会えたら、それはラッキー!きっといろんなお話がうかがえますよ。ハガキでのご応募お待ちしております(皆さんからの耳より情報・ご感想などもどうぞお寄せください)。(後藤百合子)

応募先 〒313-0061
常陸太田市 中城町3280番地
常陸太田市生涯学習センター内
フォンス マッチ冊子プレゼント迄

